

選 擇 東洋哲學史 福島 四

社 會 思想史 高橋 四

日 本 史 藤 四

政 治 學 松本 四

宗 教 學 緒方 四

外 國 史 金子 四

經 濟 學 高橋 四

倫 理 學 池長 四

人 文 地 理 藤岡 四

地 誌 學 桑原 四

公 衆 衛 生 學 山田 二

教 職 課 程

教 育 心 理 學 富田 二

青 年 心 理 學 清水 二

教 育 原 理 山口 四

社 會 科 教 育 法 味岡 二

宗 教 科 教 育 法 光山 二

道 德 教 育 の 研 究 山口 四

教 育 社 會 學 味岡 四

教 育 實 習 味岡 四

化 學 擔 當 の 稻 上 正 講 師 米 國 留 學 の 爲 退 職

さ れ 、 後 任 に 大 阪 工 業 大 學 廻 治 雄 講 師 を 迎

え た 。 人 文 地 理 學 は 藤 岡 謙 二 郎 講 師 に 再 び

擔當して頂くこととなった。布教學は本年度常在布教師である光山文達師を講師として就任して頂くこととなった。

一昨年喜壽を迎え本誌で記念論文集を出したばかりの富田精教授は、去る7月12日心筋コウソクの爲め逝去せられた。謹んで哀悼の意を表する。後期より清水俊彦講師を迎えて擔當して頂くこととなった。

昭和36年度卒業論文題目

佛教哲學專攻

緣起觀の史的展開 川南 秀夫

禪戒研究序說 森田 己善

禪哲學專攻

拔除禪師の禪風 鷲見 憲男

盤珪禪の大衆性 芝原 春山

禪定の段階に於ける現境の研究 吉富宜康

松源崇岳禪師の禪風について 佐藤 謙整

禪の慈悲—キリスト教の愛との比較— 富賀見泰道

利休の茶道にみる禪について 富賀見泰道

臨濟禪の現代的課題 富賀見泰道

—禪的人間の生活— 河野 弘道

鈴木正三の研究 竹内 俊昭

禪經驗の心理的考察 塚本 孝之

現代中國に於ける禪 龍山 瑛郎

不動智神妙錄の研究 朝雲 秀夫

禪の經濟思想 清陀 俊弘

正法眼藏僭評に見える 高田 實道

無著道忠の曹洞宗批判 高田 實道

念佛禪の源流 宇野 正弘

豐後に於ける吉利支丹宗門と佛教 衛藤 宗允

東北地方に於ける修驗道について 松浦 文道

大道文可禪師の研究 清陀 英弘

相阿彌について 高木 堅持

道元禪師の禪戒について 牧野 良光

廢佛棄釋の批判 小野 清道

近代に於ける禪界について 安居士

—特に五葉愚溪を中心に— 安居士

澤菴和尚について 橋本 尙士

明治維新神佛分離の研究 川松 仁

武士の精神生活と禪 大橋 昭道

晦巖和尚の研究 菅 宗寬

瑞龍寺の開祖について 白木 尙道

方廣寺開創について 新野 宜晃

松島瑞巖寺史 宮田 光雄

西岸寺の沿革と山の諸關係 平野 隆道

學術講演會

2月15日 涅槃會にて今津先生の學位論文である「師資相承論の諸問題」と題する學術講演會があつた。

4月16日 印度アシラム道場主事プーニ氏の「ヨガについて」の講演があつた。緒方宗博先生が紹介通譯された。

5月14日 米國で禪研究者として有名なアランワット氏の講演あり、西村惠信助手通譯、題して「アメリカの禪」であつた。

5月25日 創立記念祭講演會に東洋大學教授本學講師西義雄博士より「菩薩の願行」と題する話を聞いた。

6月1日 妙心寺派沖繩親化隨行布教師松原泰道師より「沖繩の宗教・政治事情について」と題する講演會があつた。

9月17日 イスラエル國立大學パラス教授の「イスラエルの宗教事情」と題する講演會があつた。緒方教授の通譯による。

11月10日 學園文化祭記念講演會は「現代と學生と思想」と題し、同志社大學教授岡本清一氏であつた。

11月11日 六祖大師千二百五十年遠誼を

記念して、京都會館において「禪をきく會」を開催、鈴木大拙博士、山田無文老師の三師の講演會があつた。

11月17日 大藏會の當番校にあたり、記念講演に「一切經の獨自性」と題する本學教授今津洪嶽博士のお話があつた。

12月8日 成道會記念に本學教授山口三郎氏の「日本人の教育」と題する講演會があつた。

12月13日 佛教東漸五十年記念に歐米を視察された正眼短期大學梶浦逸外老師より「歐米を視察して」の講演であつた。

夏期禪學公開講座

7月8日より10日まで3日間、例年の夏期公開講座を毎夕6時30分から本學講堂で開催した。本年の講座題名及び講師は左記の通りであつた。

提唱 碧巖錄 第51則雪峰是什麼、第53則 百丈鴨子、第57則趙州田庫奴

六祖慧能大師を偲ぶ 木村靜雄教授
二元論的世界觀 金子光介講師
印度秘境的佛教 高崎正芳講師

學 會

日本佛教學會は10月13日14日駒澤大學に於て開かれ、本學より、

看話禪に於ける信と疑の問題

柳田聖山教授

佛教文學研究會が発足、6月24日京都女子大學で研究發表會が開かれた。本學より、

中世禪林と五山文學 荻須純道教授

禪學研究會 昭和37年度禪文化研究所禪學研究發表大會は福島俊翁教授の古稀、市川白弦教授の還曆・森暢講師の還曆・三先生頌壽記念として10月26日、本學第一教室にて開かれた。

マックスウェバーのプロテスタントの倫理と資本主義の精神について

稲岡順雄教授

南嶽慧思の禪觀 驚坂宗演助手
ガンダヴェーハの思想史的研究 小林圓照助手

看話禪に於ける大死とその神秘的暗夜の特性 西村惠信助手

紀州隅田大高能寺の大般若經について

橘恭堂助手

和漢禪刹次第の研究 大石守雄助教

再び舍利禮文について 石川良昱助教

禪僧の文學觀 横山文綱所員

傳法寶紀とその作者 柳田聖山教授

白隱禪の一側面 木村靜雄教授

明恵上人の畫像について 森 暢講師

分割と分別 市川白弦教授

日本印度學佛教學會 5月19日20日龍谷

大學深草學舎に於て開催された。本學よ

り、クエーカリズムの「内なる光り」に見る

禪的要素 西村恵信助手

わが國における大般若經の書寫と開板に

ついて 橋 恭堂助手

ガンダヴェーハの「憶念佛」 小林圓照助手

舍利禮文について 石川良昱助教

無著道忠の庸惰餘録について 大石守雄助教

洞山五位の一側面 柳田聖山教授

禪社會倫理の一問題 市川白弦教授

宋代禪者の態度について 荻須純道教授

中國高僧傳輪讀會は續高僧傳を昨年につ

き續き讀んでいる。そのほか佛教學會、禪

學會、佛敎史學會も隨時例會をもち、卒業論文の中間發表や、現地研修、史蹟踏査などを行った。

佛敎史學會は9月上旬荻須教授・大石助

教授を中心として、學生20餘名參加し、靜

岡縣奥山の方廣寺をふり出しに、鎌倉に至

り建長寺、圓覺寺、淨智寺、鎌倉大佛、鶴

岡八幡宮を拜觀し、山梨縣鹽山の向嶽寺、

慧林寺へと三泊四日を史蹟踏査研究旅行を

行った。

又禪文化研究會は2728合併號で六祖慧能

の禪特集號が編纂された。

禪文化第2728號目次

提唱不思善惡 山田 無文

慧能禪と現代 鈴木 大拙

禪の人間像 久松 眞一

佛性南北無し 山田 無文

六祖慧能禪師圖說 竹内 尙次

佛敎東漸七十年の回顧 緒方 宗博

白隱和尚と了徹居士(上) 秋山 寛治

仙厓和尚の研究(二) 三宅酒壺洞

香道史抄(一〇) 一色 梨郷

賣茶翁の遺墨展を見て 淡川 康一

仙厓陶鈞の圖 内島 北朗

龍吟庵の素朴性 立花 大龜
禪寺巡禮・慧林寺 大石 守雄
千崎如幻先生のこと 棚橋 秋旻

禪文化第29號目次

提唱二僧卷簾 山田 無文

歐米における禪の將來 西 義雄

ドイツにおける禪 平田 高士

座談會禪の國際性について 鈴木 大拙

茶道の先蹤 柴山全慶外

禪宗史話達磨大師 久松 抱石

白隱和尚と了徹居士(下) 荻須 純道

北九州のつたえから 秋山 寛治

茶を習う 春日井眞也

句境禪心 井伊 文子

禪寺巡禮・常照皇寺 石川 良昱

大石 守雄